

【22_150技術系メルマガ】リアルマネートレードでのリスク管理の練習法

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードの『型』を確立するためには、その型に沿った過去チャートの検証を行うだけでは不十分です。

そこで作ったルールを守ったうえで、手法として機能する(要するにちゃんと利益が出る)かどうかを確かめるための

『フォワードテスト』が必要になります。

原則、まだ試作段階のルールなのであれば

どんな失敗をしてもいいように、デモトレードで行うことを推奨しているのですが

それだとどうしても「緊張感がなくて適当にトレードしてしまう」という人も多いです。

だからといって、いきなりレバレッジを張ったリアルトレードをやるのは

結局無駄な損失を増やしてしまうだけなので、これではいけません。

そこで、ルール構築段階でどうしてもリアルトレードでフォワードテストをしたいという人は

『通常的生活基準』に合わせた損益が出てくる資金・ロット量でトレードを試みることをおすすめします。

□
└─ ■ 『通常的生活基準』に見合ったロット量とは？
└──────────────────┘

用意するものは、「1万円」で良いです。

海外口座で開いておけば、証拠金維持率にも余裕を持たせられるので、とりあえずメジャーどころを選びましょう。

どこを選んだらいいかわからないという方は、このサイトなどを参考にすると良いです。

▼参考:まんぼう総裁ブログ 海外FXブローカーランキング2022 / 4最新版▼
<https://manbou-fx.com/kaigaifx-ranking/>

個人的に、海外ブローカーの情報の信頼度は限界で一番高いのではないかと思います。

可能なブローカーには現地に視察へ行かれるくらいの徹底ぶりなので

詳しくはブログを読んでみてください。

さて、手順に戻ります。

どんなトレードをやるとしても、その時に張るロットは『5000通貨(MT4表示で0.05 LOT)』で固定します。

1万円で5000通貨の取引であれば

【10pipsの損切で約500円のリスク、30pipsの利確で約1,500円の利益】

になります。

これを、多いと捉えるか少ないと捉えるかは、個々の金銭感覚に依るでしょうが

1日の安いランチ代のリスクを取って、ちょっとグレードの高いランチ代の利益になるイメージです。

僕がFXを学び始めて初めてリアルトレードに移行したときは、このリスクリワードをイメージして勝ち負けを積み上げていき

【最終的にちゃんと利益が残ったかどうか】を月単位で評価していました。

これで月の利回り10%程度(この資金量で1,000円の利益を着実に残す)を2~3カ月維持できれば

型・ルールとしての完成度は高いと判断して良いでしょう。

この、「現実的な金銭感覚」に沿ったロットで資金増減を体感しながら練習するのは
漫然とデモトレードをやるよりは、より『ルール通りに執行することの重要性』や
『そのルールがキチンと機能するかを確認する』という点で非常に有効なやり方です。

ここまで読んで「たった1,000円しか稼げない」と捉えるのか
『安定したトレードで10%の利回り』を確保できるルールを確立できると考えるか
それは読んでくれた皆さんの判断にお任せします。

少なくとも、僕の身の回りで着実にトレードの技術が向上し、納得の方法で取り組めるようになった人の殆どは

後者の考え方に沿って地道にデータどりと手法の修正を繰り返し行ってきた人です。

FXにおいて、レバレッジが武器になる事は言うまでもない事実ですが、多くの人は
その武器の使い方を間違ったまま覚えてしまっているように感じられます。

これも繰り返しお伝えしていることですが、自分がそのトレードで負う『リスクサイズ』を正確に把握し

勝率・利回りをチェックしながら一貫したトレードを迷わずできる仕組みを作る

これが僕の考える『トレードの技術』です。

是非とも練習の段階から、『最終的に実戦へ繋げる考え方』として、今回の話を参考にさせていただけたら幸いです。